
「ロービジョン患者におけるドライアイ合併率とドライアイ質問票の妥当性の検討」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年1月1日から2024年1月31日の期間に埼玉医科大学病院アイセンターロービジョン外来を受診した18歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ロービジョンは視力や視野欠損など視機能が弱く矯正もできない状態で、視覚異常により日常生活が不自由になる状態です。一方ドライアイは涙液の質的・量的異常によりさまざまな症状と視機能障害をきたす疾患ですが点眼で症状を改善することができます。ドライアイの診断には専用の質問票を使用して症状の有無を調べるのですが、「夜間の運転に支障がある」「テレビを見るのに支障がある」など、ロービジョンの状態であれば元々不可能な項目も多くあり、質問票自体の正確性は高くないと考えられています。そこで、ロービジョン外来を受診した方でドライアイの診断がついている方とそうでない方でドライアイ質問票を比較し、どの質問項目が診断に有用かを検討します。

この研究結果により、ドライアイ診断に有用な質問がわかるようになるため治療を開始しやすくなり、ドライアイに関係した症状を減らすことができる可能性があります。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年9月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年11月20日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

ロービジョンの原因となった疾患、視覚障害の等級、ロービジョン外来で使用している問診票も

含めた問診内容から、ドライアイ質問票に関する質問の結果、視力、眼圧、角膜病変（混濁病変）、眼瞼病変（マイボーム腺の閉塞の有無など）、涙液破層時間を診療記録から用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である石川 聖が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

ロービジョン外来を受診した患者さんのドライアイに関連した質問内容、ロービジョンとなった原因疾患や視覚障害の等級、受診した際の視力、眼圧、角膜病変（混濁病変）の有無、眼瞼病変（マイボーム腺の閉塞等）の程度を診療記録から用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 眼科 石川 聖（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 石川 聖
住所：〒350-0495 埼玉県毛呂山町毛呂本郷 38
電話：049-276-1295（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：ロービジョン患者におけるドライアイ合併率とドライアイ質問票の妥当性の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 眼科 石川 聖